

Cisco DNA Spaces : コネクタ Docker リリースノート

初版 : 2021 年 6 月 16 日

最終更新 : 2022 年 4 月 27 日

リリースノートについて

Cisco DNA Spaces : コネクタ の最新バージョンを使用することを推奨します。

このリリースノートでは、新機能と変更点、Cisco DNA Spaces : コネクタ の最新バージョンへのアップグレード手順、および各リリースの未解決の不具合と解決済みの不具合について説明します。特に断りのない限り、このドキュメントでは、Cisco DNA Spaces : コネクタ をコネクタ と表記します。



- (注) この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、基準ドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Cisco DNA Spaces : コネクタ の概要

Cisco DNA Spaces : コネクタ (このドキュメントでは以降すべての参照箇所ではコネクタと呼びます) は、各コントローラがクライアント情報を失わずにクライアントデータを送信できるようにすることで、Cisco DNA Spaces が複数のコントローラ およびスイッチと効率的に通信できるようにします。

コネクタは、コントローラ、アクセスポイント (AP)、およびスイッチから効率的にデータを収集して集約し、集約したデータを Cisco DNA Spaces に送信します。コネクタ アーキテクチャでは、複数のコントローラ、AP、およびスイッチが単一のポイント (コネクタ) を介して Cisco DNA Spaces に接続できます。単一のコネクタは、シスコワイヤレスコントローラ、Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレスコントローラ、および Cisco Catalyst 9300 シリーズスイッチおよび Cisco Catalyst 9400 シリーズスイッチに同時に接続できます。



(注) このドキュメントでは、コントローラという用語を、次を指すものとして使用しています。詳細については、「[互換性マトリクス](#)」を参照してください。

- シスコ ワイヤレス コントローラ (Cisco DNA Spaces ダッシュボードに WLC AireOS として表示)
- Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ (Cisco DNA Spaces ダッシュボードに Catalyst WLC として表示)
- Cisco Embedded Wireless Controller on Catalyst Access Points (Cisco EWC-AP)

コネクタはデータを HTTPS 経由で Cisco DNA Spaces に送信します。データはプロキシを介してルーティングすることもできます。



(注) コネクタの最新バージョンへのアップグレードを推奨します。

Docker リリース v2.0.619 の新機能

表 1: 解決済みの不具合

不具合	説明
CSCwb28513	AP のアップグレード後、電波品質データは Cisco DNA Spaces Web UI コントローラ で更新されません。
CSCwb43159	AP プロファイルの gRPC ストリームを有効にできません。

Docker リリース v2.0.609 の新機能

- Cisco DNA Spaces : コネクタでは、ロギングに Apache の Java ライブラリ「log4j」を使用するようになりました。Docker v2.0.609 は Apache log4j バージョン 2.17.1 を使用して、脆弱性 [CVE-2021-45046](#)、[CVE-2021-44228](#)、[CVE-2021-45046](#)、[CVE-2021-45105](#)、[CVE-2021-44832](#) に対処しています。
- データパス接続の安定性が向上しました。
- Cisco Catalyst 9136 アクセスポイントがサポートされるようになりました。

Docker リリース v2.0.589 の新機能

Cisco DNA Spaces : コネクタ では、ロギングに Apache の Java ライブラリ「log4j」を使用するようになりました。Docker v2.0.589 では、Apache log4j バージョン 2.17 を使用して、脆弱性 [CVE-2021-45105](#) に対処しています。

Docker リリース v2.0.588 の新機能

Cisco DNA Spaces : コネクタ では、ロギングに Apache の Java ライブラリ「log4j」を使用するようになりました。Docker v2.0.588 では、Apache log4j バージョン 2.16 を使用して、脆弱性 [CVE-2021-45046](#) に対処しています。

Docker リリース v2.0.587 の新機能

Cisco DNA Spaces : コネクタ では、ロギングに Apache の Java ライブラリ「log4j」を使用するようになりました。脆弱性 [CVE-2021-44228](#) は現在、Apache の「log4j」のバージョン 2.0 ～ 2.14.1 に影響します。Docker v2.0.587 では、Apache log4j バージョン 2.15 を使用するようになりました。

Docker リリース v2.0.586 の新機能

- Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ の接続の問題が解決されました。
- 接続テストが強化されました。
- Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ で FIPS モードがサポートされるようになりました。
- SNMPv3 の問題が解決されました。

表 2: 未解決の不具合

不具合	説明
CSCvz67366	コネクタ は、連邦情報処理標準 (FIPS) モードで実行されている Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ リリース 17.5.1 とのシスコ ネットワーク モビリティ サービス プロトコル (NMSP) 接続を確立できません。ただし、コネクタ は、FIPS モードで実行されている Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ リリース 16.12.x、17.3.x、および 17.6.x との NMSP 接続は確立できます。

Docker リリース v2.0.555 の新機能

- 同期していないシーケンス番号が原因で発生していた、高速パケットのドロップの問題が修正されました。
- IOx アプリケーションバンドルのダウンロード中に障害が発生した場合に、より詳細なエラーメッセージを確認できるようになりました。
- IOx アプリケーションのパフォーマンスに関する修正により、IoT デバイスのスキャン機能が改善されました。
- **switchport** ユーザに関する情報を収集できるようになりました。

Docker リリース v2.0.539 の新機能

- コネクタが、それぞれのコントローラと、並行してネットワーク モビリティ サービス プロトコル (NMSP) 接続を確立できるようになりました。これにより、Docker の再起動後またはアップグレード後に必要な起動時間が短縮されました。
- 以前は、関連付けられたクライアントを定期的にポーリングしていたコントローラが、負荷の上昇やデータのドロップを発生させる可能性がありました。このポーリングは、コントローラごとに時間内に均等に分散されるようになりました。

表 3: 解決済みの不具合

不具合	説明
CSCvy12041	バージョン文字列の英数字が解析されないため、17.3.2a で Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ から コネクタ のセッションが確立されません。
CSCvy30330	コネクタは、eWLC 16.x との下位互換性を確保するために、SHA-1 を使用する Diffie-Hellman KEX をサポートします。
CSCvy14010	顧客が IoT ゲートウェイを導入できない原因となる TDL の問題

Cisco DNA Spaces : コネクタ の互換性マトリクス

ハードウェアまたはアプリケーション名	Cisco DNA Spaces : コネクタ のサポート
シスコ ワイヤレス コントローラ	<ul style="list-style-type: none"> • 8.5 • 8.8 • 8.9 • 8.10 <p>(注) リストに表示されている各リリースの最新のソフトウェアまたはメンテナンスリリースバージョンを使用します。</p>
Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ	<ul style="list-style-type: none"> • 16.12.4a • 16.12.5 • 17.3.1 • 17.3.2 • 17.3.3 • 17.3.4 • 17.4.1 • 17.5.1 • 17.6.1 • 17.6.2 • 17.7.1 <p>(注) リストに表示されている各リリースの最新のソフトウェアバージョンまたはメンテナンスリリースを使用します。</p>

ハードウェアまたはアプリケーション名	Cisco DNA Spaces : コネクタのサポート
Cisco Embedded Wireless Controller on Catalyst Access Points (Cisco EWC-AP)	<p>次のバージョンがサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 16.12.5 • 17.3.1 • 17.3.2a、 • 17.3.3 • 17.3.4 • 17.4.1 • 17.5.1 • 17.6.1 <p>(注) リストに表示されている各リリースの最新のソフトウェアバージョンまたはメンテナンスリリースを使用します。</p> <p>次のアクセスポイントがサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Aironet 9115 シリーズ アクセスポイント • Cisco Aironet 9117 シリーズ アクセスポイント • Cisco Aironet 9120 シリーズ アクセスポイント • Cisco Aironet 9130 シリーズ アクセスポイント
Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチおよび Cisco Catalyst 9400 シリーズ スイッチ	サポートされるバージョンは17.3.3以降です。
Cisco Psrime Infrastructure	—
Cisco DNA Center	—

ハードウェアまたはアプリケーション名	Cisco DNA Spaces : コネクタのサポート
Cisco DNA Spaces : IoT サービス	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラ リリース 17.3.1 以降でサポート • シスコ ワイヤレス コントローラ ではサポート対象外 • Cisco Embedded Wireless Controller on Catalyst Access Points (Cisco EWC-AP) ではサポート対象外
OpenRoaming	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラ リリース 16.12 以降でサポート • シスコ ワイヤレス コントローラ 8.3 以降でサポート
Cisco FastLocate の コントローラ でサポート	<ul style="list-style-type: none"> • シスコ ワイヤレス コントローラ リリース 8.1.123.0 でサポート • Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラ のすべてのリリースでサポート
Cisco HyperLocation の コントローラ でサポート	<ul style="list-style-type: none"> • シスコ ワイヤレス コントローラ でサポート • Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラ でサポート
コネクタのアクティブ/アクティブ	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Embedded Wireless Controller on Catalyst Access Points (Cisco EWC-AP) ではサポート対象外 • Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラ でサポート • シスコ ワイヤレス コントローラ でサポート

ハードウェアまたはアプリケーション名	Cisco DNA Spaces : コネクタのサポート
テスト済みの VMware 環境	<ul style="list-style-type: none"> VMware ESXi : 6.5.0 Update 2 (ビルド 13004031) 、6.7.0 Update 2 (ビルド 13006603) 、6.7.0 Update 3 (ビルド 16316930) VMware vSphere クライアントバージョン 6.7.0 VMware vCenter サーバアプライアンス 6.7.0
テスト済みの Hyper-V 環境	Hyper-V バージョン 10.0.17763.1
テスト済みプロキシ	<ul style="list-style-type: none"> Squid プロキシ <ul style="list-style-type: none"> 転送専用モード (SSL トンネリング) Squid-in-the-Middle モード (傍受機能を使用した SSL トンネリング) McAfee Cisco Web セキュリティアプライアンス
Cisco FastLocate のテスト済みアクセスポイント	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Aironet 2800 シリーズ アクセスポイント Cisco Aironet 3800 シリーズ アクセスポイント Cisco Aironet 4800 シリーズ アクセスポイント
Cisco FastLocate のテスト済みアクセスポイント (Wi-Fi 6)	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Aironet 9120 シリーズ アクセスポイント Cisco Aironet 9130 シリーズ アクセスポイント
Cisco Hyperlocation のテスト済みアクセスポイント	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Aironet 3700 シリーズ アクセスポイント (HyperLocation アンテナが必要) Cisco Aironet 4800 シリーズ アクセスポイント

ハードウェアまたはアプリケーション名	Cisco DNA Spaces : コネクタ のサポート
コネクタの最小要件およびサイジング	<ul style="list-style-type: none">• 2 vCPU• 4 GB RAM• 60 GB ハードディスク

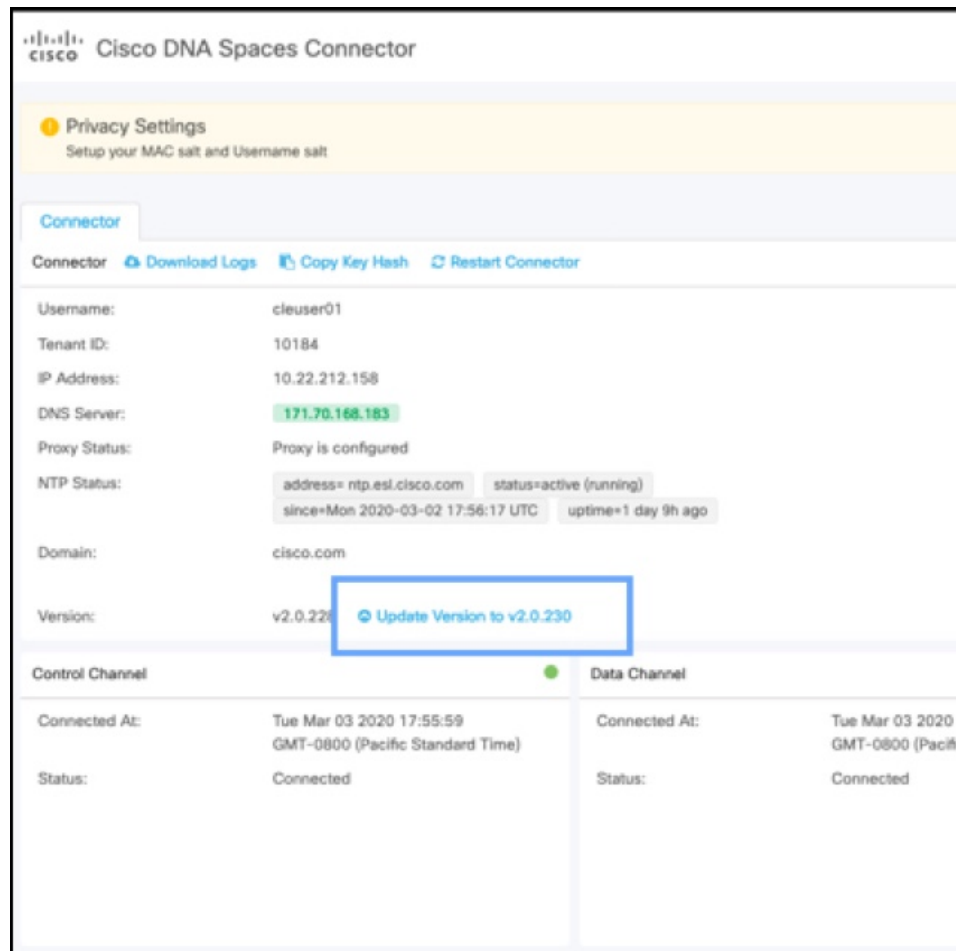
Cisco DNA Spaces : コネクタ Docker のアップグレード

コネクタ GUI から コネクタ Docker を最新バージョンにアップグレードできます。アップグレードリンクは、新しいアップグレードイメージが使用可能な場合にのみ表示されることにご注意ください。



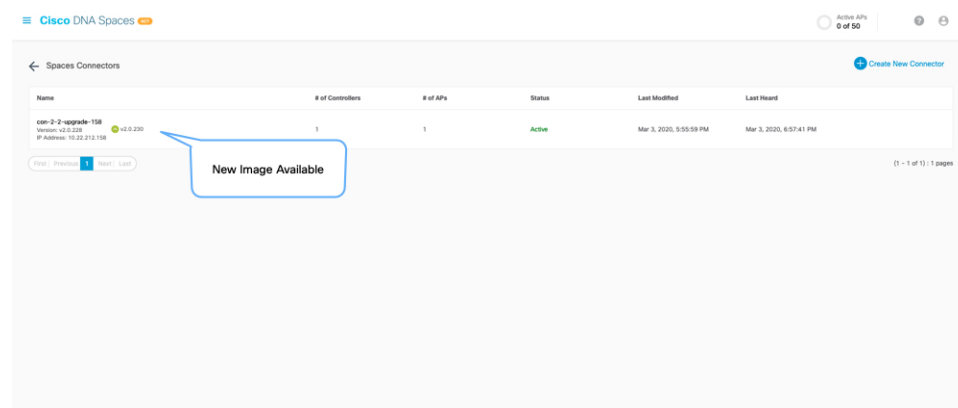
(注) この手順では、コネクタ OVA はアップグレードされません。

図 1: コネクタ 上の Docker アップグレードリンク



Cisco DNA Spaces ダッシュボードから コネクタ Docker を最新バージョンにアップグレードすることもできます。アップグレードリンクは、新しいアップグレードイメージが使用可能な場合にのみ表示されます。

図 2: Docker アップグレードリンクは、新しいイメージが使用可能な場合にのみ表示される



よくある質問

どのようなブラウザがテスト済みですか。

Cisco DNA Spaces : コネクタ は、次のブラウザでテスト済みです。

- Google Chrome

どのようなプロキシが **Cisco DNA Spaces : コネクタ** でテスト済みですか。

次のプロキシは、Cisco DNA Spaces : コネクタ でテスト済みです。

- Squid プロキシ
 - 転送専用モード (SSL トンネリング)
 - Squid-in-the-Middle モード (傍受機能を使用した SSL トンネリング)



(注) Squid-in-the-Middle モードで Squid プロキシを使用する場合、WebSocket ドメインの傍受機能を無効にする必要があります。「ssl_bump bump all」セクションの前の Squid 設定ファイルに、次の行を追加します。

```
• acl websocket_sites ssl::server_name
  .location-data.cisco.com

• acl websocket_sites ssl::server_name
  .dms.cisco.com

• ssl_bump splice websocket_sites
```

- McAfee
- Cisco Web セキュリティ アプライアンス

Cisco DNA Spaces : コネクタのトラブルシューティング

以下に、Cisco DNA Spaces : コネクタ で発生する可能性のあるトラブルシューティングシナリオの一部を示します。

フェールオーバー後に Cisco DNA Spaces : IoT サービス を再プロビジョニングする方法

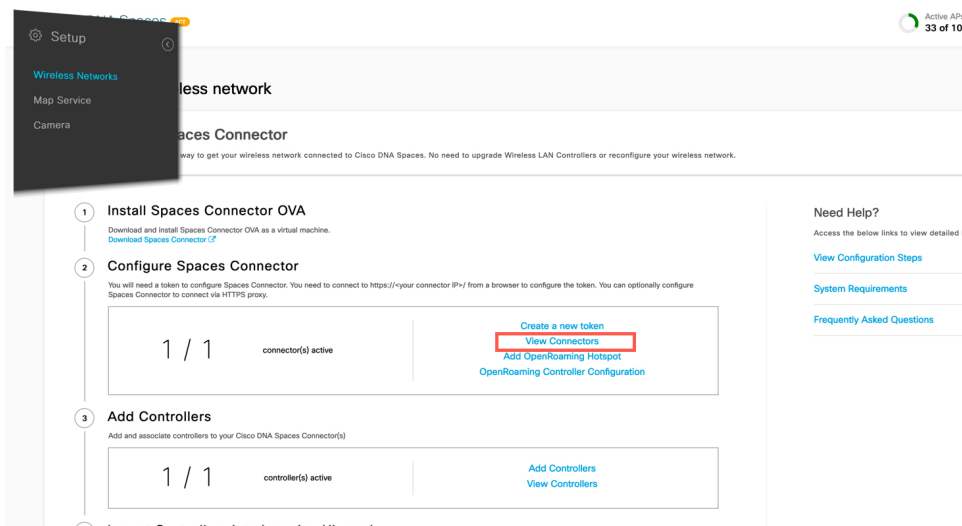
このタスクでは、コネクタのフェールオーバー後に Cisco DNA Spaces : IoT サービス を再プロビジョニングする方法について説明します。フェールオーバー後は、1つのコネクタだけがアクティブになります。アクティブなコネクタに対してこのタスクを実行することを確認します。(ステップ 3)

手順

ステップ 1 Cisco DNA Spaces ダッシュボードの左側ナビゲーションペインから、**[Setup]>[Wireless Networks]**の順に選択します。

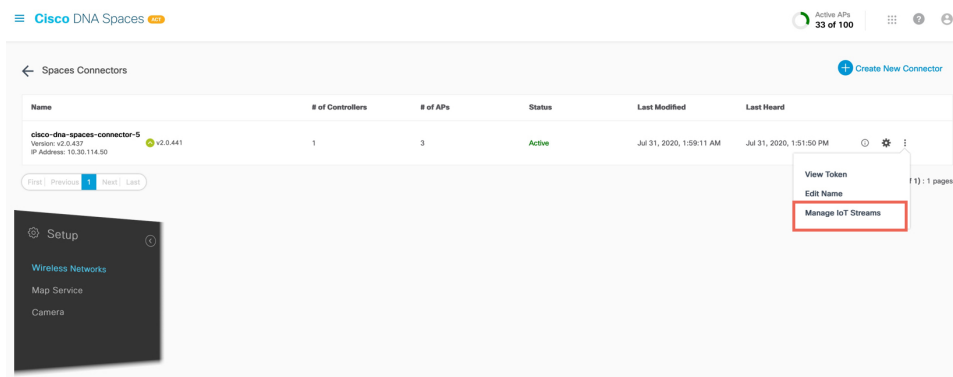
ステップ 2 **[Configure Spaces Connector]** 領域で、**[View Connectors]**をクリックします。

図 3: **View Connectors**



ステップ 3 アクティブなコネクタの3つのドットアイコンをクリックし、**[Manage IoT Streams]**を選択します。

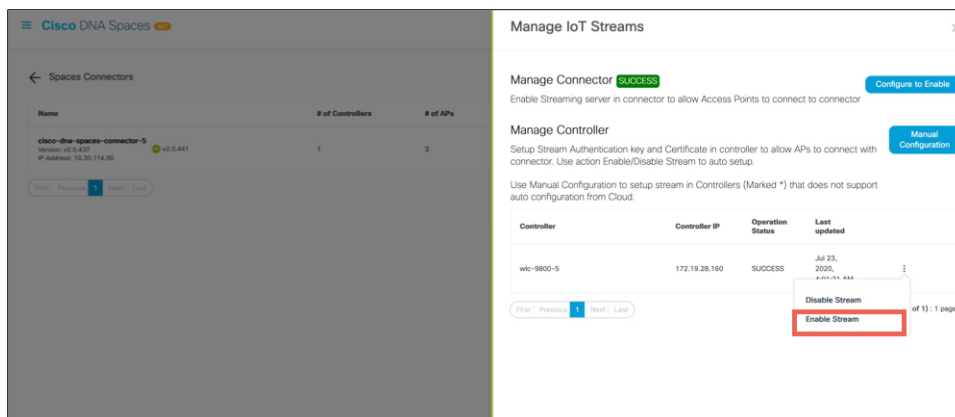
図 4: Manage IoT Streams



ステップ 4 表示された **[Manage IoT Streams]** ウィンドウで、次の手順を実行します。

- [Manage Controller]** 領域で、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ の 3 つのドットアイコンをクリックし、**[Disable Stream]** を選択します。ステータスが **[Not Initiated]** に変更されます。
- Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ の 3 つのドットアイコンをもう一度クリックし、**[Enable Stream]** を選択します。

図 5: コネクタ およびそれぞれの *Cisco Catalyst 9800* シリーズ ワイヤレス コントローラ の *IoT* ストリームの有効化



AP とコネクタ の間の gRPC チャネルが再確立されます。

ステップ 5 Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ とコネクタ の間のテレメトリを再度有効にするためには、コネクタ GUI から コネクタ を再起動します。コネクタは、Cisco DNA Spaces : IoT サービス のためのテレメトリサブスクリプションをCisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ で作成できるようになりました。

関連資料

- [Cisco DNA Spaces : コネクタ コンフィギュレーション ガイド](#)

- [Cisco DNA Spaces](#) : コネクタコマンドリファレンス

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[シスコサービス](#) にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[シスコ サポート](#) にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco DevNet](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

Cisco バグ検索ツール

[シスコバグ検索ツール \(BST\)](#) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

マニュアルに関するフィードバック

シスコのテクニカルドキュメントに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。